Mizuho Weekly Market Report

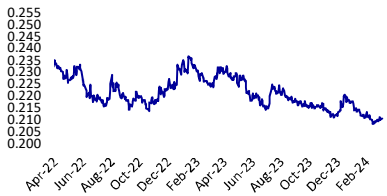
3/4/2024
みずほ銀行東アジア資金部台北室

市場動向

■USD/TWD

■USD/JPY

■JPY/TWD

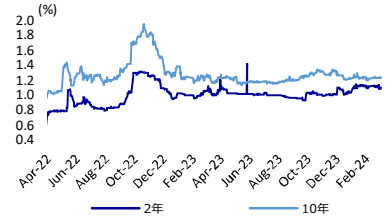


■EUR/USD

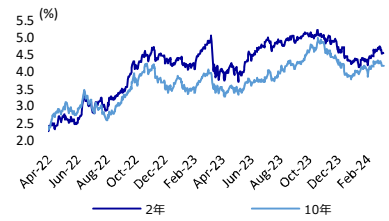
■USD/CNH

■台湾加権指数

■台湾国債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のドル/台湾ドルは上に行ってこい。週初2/26は31.570でオープン後、外国人投資家いによる台湾株買いを背景に台湾ドル買いが優勢となり一時31.535まで下落。2/27は米国債入札による需給悪化懸念や、週央の米重要指標発表への警戒感を反映し米金利が上昇する中、ドル買いが優勢となり31.60近辺まで上昇。2/28は台湾休場。2/29は、午前中に大規模な海外送金が見られていたことで、ドル買いが優勢となり、一時31.699まで上昇。その後、輸出業者による外貨売りや、上値を押さえる動きが見られたことで31.60近辺まで下落した。3/1は材料に乏しい中、31.60を挟み揉み合いの推移。最終的には前週比概ね変わらずの31.545で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は62.7億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のドル/円は下落。週初2/26は150.49でオープン後、米金利の上昇を背景にドル買いが優勢となり150円台後半まで上昇。2/27は日1月CPIが市場予想を上回る結果となったことを受けて円が買われ150円台前半まで下落も、米金利の高止まりを受けドルが買い戻される展開に。2/28は米重要指標の発表を控えドル買いが進み、一時150.85まで上昇。しかし米第4四半期GDP改定値が市場予想を下回る結果となると、米金利の低下が進みドル売りが優勢となり、150円台半ばまで下落した。2/29は、米1月PCEが発表され、前月比で鈍化していたことを受けてドル売りが進み、一時149.21まで下落した。3/1は、日銀の植田総裁より「安定的なインフレ目標達成が見通せる状況に至っていない」との発言が聞かれると、円売りが優勢となり150円近辺まで上昇する展開に。最終的には前週比0.5%ドル安円高の149.99で先週の取引を終了。

今週の見通し

■USD/TWD　予想レンジ：31.380-31.580

今週は上値の重い推移を見込む。米インフレ率の鈍化が確認される中、米金利の上昇余地は限定的な他、堅調な米国株式市場の値動きにつられて台湾株価が底堅く推移する場合、台湾ドルは買われやすいであろう。

■USD/JPY　予想レンジ：148.00-151.00

今週は上値の重い推移を見込む。年内の米利下げ織り込みは約3回程度まで剥落しており、一段の後ずれは期待されづらい中、ドル円は上値の重い展開となるであろう。

今週の予定

3/4 (MON)	
3/5 (TUE)	日2月CPI、米1月製造業受注
3/6 (WED)	米2月ADP雇用統計
3/7 (THU)	台湾2月CPI、ECB
3/8 (FRI)	台湾2月貿易収支、米2月雇用統計

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようにお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。